

第9回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

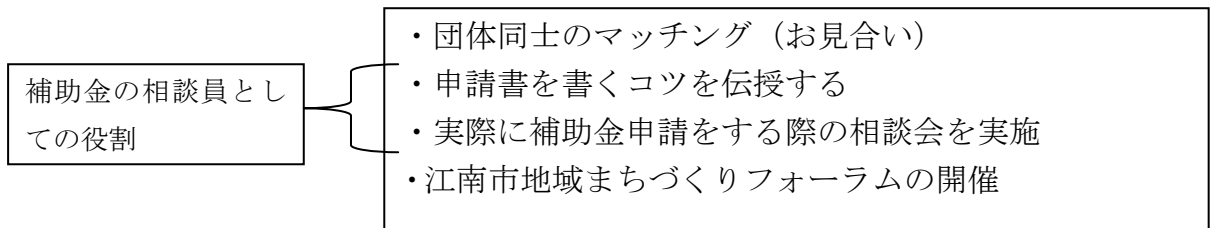
日時：平成25年5月20日（月） 午後2時～4時

場所：地域情報センター2階 大会議室

1. 平成25年度の事業について

- ・NPO・ボランティア講座の開催にあたり、今まで以上にNPO・ボランティア団体が江南市地域まちづくり補助事業へ参加しやすいようにするには、どうしたら良いかについて、話し合いました。

NPO・ボランティア講座



- ・昨年度は、名古屋の中間支援NPOに委託して開催した。
- ・昨年度のまちづくりフォーラムでは、豊川市のセンターから、神谷典江さんにお話を伺い、自分の考えや思いが同じ方と出会える機会となるような講演にしたいとのことであった。
- ・昨年度の実施により、もっと早い段階で、委員の方々の意見を聞けるとよいと思われた。（斉藤委員）
 - 昨年、大府市で行われた「申請書を書く」コツの伝授の実施。
 - 市民協働・市民活動推進協議会委員のみなさんに、審査以外にも参加してもらい、できれば、相談員をお願いしたい。

委員からの意見

- ・名古屋の中間NPOでは、江南市の事業について考え、何かを行うとなると江南市の風土をあまり知らないため、うまくできるのかと疑問に感じる

ことがある。

→江南市以外の方からの意見を聞く事も大切であると思う。

- ・いきなり団体が補助金申請を市へ提出する場合、委員として申請書を見ることしかできず、アドバイスをすることができない。そのため、審査の前に団体のサポートをしていきたいと思う。
- ・団体が申請書を市へ提出をする前に、第三者的な人へ相談し、申請書の内容をより良くしていけるコツを教えることが大切である。
- ・今年度も委員で相談を受けても良いという人は、団体へのサポートをお願いしたいが、ぜひ、他の委員皆さんに協力して頂き、より多くの団体の相談をお願いしたい。
- ・相談員と審査員が同じであることは、よくないのではないかと。
 - 昨年相談をしていただいた中間支援NPOは、モリコロ基金の受託をしつつ、団体からの相談業務を行っている。ただし、審査員と相談員は別の人で行っている。
- ・あまり両方をやらない方がいいとは思いますが、1人の意見が大きく左右する訳ではない。委員が相談を受けた団体の申請書が、必ずしも審査で採用になるとは限らないため、相談とアドバイスを行っている。
- ・相談員と審査員が同じであると、必ずしもアドバイスをしたからといって申請書が通るとは限らないため、もし不採用になってしまった場合、団体の信頼感を失い、相談員も申し訳ない思いになるため、その2つを兼任することは、やめた方が良くはないかと思う。
- ・相談員が受けた団体の背景を審査員にうまく伝えてあげられれば、それは団体の人も心強く、良いことだと思う。
- ・マッチング講座を行う以前に、1度皆さんの意見を求め、その思いを持って、マッチング講座に望めればと思う。
 - 市外の中間支援NPOが行う場合、江南市では不可能なこともあると思うため、江南市の風土を理解してもらってから行ってほしい。
 - 他市町村で講師やフォーラムは、昨年度依頼した名古屋の中間支援NPOが長けているので、依頼させてほしい。
 - いずれは、江南市内で活動している団体が相談員となれることが、江南市の風土についてもよく理解しているため、その方が望ましいと思う。

2. 市民・協働ステーションについて

- ・情報紙「みんなのパレット」を作成し、団体の生の声を掲載することによ

- り、団体の活動背景を伝える1つの手段となればと思う。
- ・市民側の課題とともに、行政側にも課題はあると思う。

まとめ

- ・江南市地域情報センターについて、今後皆さんでどのようにしていきたいかを話し合う場づくりとして委員会を進めていきたい。
- ・行政や民間など、様々な立場の人を巻き込んで行いたい。
- ・市民・協働ステーションでは印刷機はあるが、シュレッダーがないため、来年度の予算で、コンパクトで安全なシュレッダーを購入したいと考えている。
- ・中会議室には、ドアがないため、カーテンなどを設置して、冬場の寒さ対策をしたいと考えている。
→特に反対意見はなし。

【その他】

- ・第10回の市民協働・市民活動推進協議会の開催予定は、平成25年7月～8月です。日時等が決まりましたらホームページでお知らせします。